

桂浜水族館

○現在実施している又は今後実施予定の取組

桂浜水族館は昭和6年、地元の漁師によって設立され、創業当時より、地元土佐湾で獲れる豊富な漁業資源を展示、食育にも力を入れてきました。高知県下で初めて登録された博物館でもあり「見て、触れて、学べる」水族館博物館を目指し、海や魚、漁業への興味の入口を提供しています。近年ではSNSでの発信にも注力しながら、以下取り組みを行っています。

①食育をテーマにした展示・解説

桂浜水族館では、食育活動として展示や解説に魚の食べ方や味の特徴などを取り入れています。五感を通して海や魚を身近に感じてもらうことで、興味の入口となる施設を目指しています。また、遠足や修学旅行の受け入れも行っており課外活動の場としても活用いただいています。

②近隣漁港と連携した展示生物の搬入

水族館近くの漁師さんとのネットワークを構築、近海でとれる魚を譲り受けて展示しています。流通に乗らない規格外の魚や未利用魚の普及啓発を行い、また、SDGsの観点から限られた海洋資源の有効活用にも努めています。

③釣り振興・普及啓発

釣り振興イベントに参画し、釣り振興とルールマナーの啓発に努めています。高知県ではアカメ釣りが盛んなため、標識タグ装着個体が釣れた際の対応をポスター展示等で普及を行っています。アカメは生態が解明されていない点も多く、傷病個体の保護放流を行う場合もあります。

④今後の取り組み

これまでの活動を継続・強化していくとともに、「さかなの日」賛同メンバーを中心に漁業者・水産加工業者等ネットワークを広げ多様な観点から魚・食文化の普及に貢献していきます。



外観+おとどちゃん



食育・展示解説



標識付きアカメの
普及啓発・保護活動